

分 科 会 概 要

分科会	テーマと内容	講師
第1分科会 担当：夕張	「きらり☆魅力的な学校図書館 マスコットキャラクターで盛り上げよう」 自分の学校図書館の特徴や目的、目指すイメージなどを考えながらマスコットキャラクターを作成し、学校図書館の魅力アップやPRのためにどのように活用するかを考え、発表し合います。	北海道立図書館企画支援課 調整幹兼企画主幹 桑原 裕子氏
第2分科会 担当：深川東	思わず読みたくなる「図書館報」の書き方 新聞記事を書くときに、私が一番こだわっているのは「書き出し」です。次から次へと読みたくなる図書館報ってなんだろう？題材の選び方、書き出しの工夫、タイトルの付け方……。これまでの図書館報も題材にして、実際に文章を書いてみましょう。学校で文章を書くときに役に立つ情報があるかも？	朝日新聞北海道報道センター次長 江戸川 夏樹氏
第3分科会 担当：岩見沢東	作家・氷室冴子さんの世界を映像化するにあたって考えたこと ドキュメンタリー番組で、作家・氷室冴子さんの世界を伝えるにあたって、考えたことを、お話しします。 また、一方向に話すだけでなく、参加する生徒のみなさんに、それぞれスマートフォンなどで映像を事前にとっていただき（編集をどれくらいしていただくかは、お任せします）、それを見ながら議論できればと考えています。	NHK札幌放送局メディアセンター ディレクター 山森 英輔氏
第4分科会 担当：岩見沢西	知識を力に！歴史文化を活かしたまちづくりに触れてみよう 様々な社会変化によって難しい課題が山積する現在、今後の「地域課題の解決」は、文献を始め様々な資料から地域の歴史を紐解き、その歩みの延長線上に未来を描くことが不可欠です。今回は日本遺産「炭鉄港」を例として、明治42年に建てられた石蔵の中での講座と岩見沢駅周辺の歴史再発見フィールドワークを行います。	特定非営利法人 炭鉱（やま）の記憶推進事業団 理事長 平野 義文氏
第5分科会 担当：岩見沢西	辻村もと子作「馬追原野」を語る 北海道開拓文学の最高峰『馬追原野』（1942 年発表）は、岩見沢市出身の作家辻村もと子が父辻村直四郎を主人公のモデルとして、開拓のリアルを描いた長編小説です。近年、作品の力強さの源である直四郎の日記の研究が進んでいます。この分科会では、『馬追原野』と辻村もと子、そしてその父の生涯を紹介するとともに、もと子の作品『早春箋』について参加者全員で語り合います。	元岩見沢市立図書館司書 辻村 叔恵氏 辻村家資料研究会代表 村田 文江氏
第6分科会 担当：岩見沢東	図書にまつわるグッズ制作ワークショップ 北海道教育大学岩見沢校の学生が講師を務め、しおり等の図書にまつわるグッズの制作を行います。	北海道教育大学岩見沢校の大学生
第7分科会 担当：岩見沢農業	じゃばら型の本を作る じゃばらで紙を折り、絵や文字を書き、本を制作する。本は絵本、漫画、詩集、小説などなんでも良い。自分のアイディアでも良いし、詩人の詩や小説などを題材にしても良い。表紙・裏表紙と本文ページ数は表4面、裏2面（もっと長いものを作りたい場合は表、裏各2ページずつ増える）	絵本作家・イラストレーター すずき もも氏
第8分科会 担当：岩見沢緑陵	小説単行本ができるまで／ショートショートを書いてみよう 前半では、一冊の小説単行本が出来上がるまでの工程や、本にかかわる人たちについて、編集者の視点からご紹介します。小説家や編集者の仕事についてのご質問にもお答えします。 後半は、自分で超短編小説（ショートショート）を書いてみるワークショップです。	漫画家・イラストレーター 藤沢 チヒロ氏
第9分科会 担当：滝川	そうだ！図書室へ行こう！！～通いたくなる図書室作り～ 「図書室って行ったことない。」「本なんて読まないし。」そんな友達をその気にさせるのも図書局員のテクニク！ 思わず「行ってみようかな！」と思わせる展示にしてみませんか？ 足を運びたくなる図書室づくりを実践してみましょう。	滝川市立図書館館長・司書 深村 清美氏
第10分科会 担当：滝川西	カタチからの文学史——書物から・文体から 作者と内容の暗記だけで済んでしまうほど、文学の辿ってきた歩みは単純ではありません。そもそも「日本文学」というとき、「日本」とは、そして「文学」とは、そんなに明らかなものでしょうか。この分科会ではふだんの国語の授業では扱わない、書物や文のカタチに直接触れることで、「日本文学」の全体像を目に見えるものにします。	國學院大學付属短期大学部国文学科教授・歌人 月岡 道晴氏
第11分科会 担当：芦別	『選書』は誰でもできる ・一万円選書について ・選書カルテを書いてみよう ・カルテを元に選書してみよう （時間があれば『本屋大賞』や『このマンガがすごい！』の話なども）	いわた書店 販売員 及川 昌子氏
第12分科会 担当：滝川工業	お試し体験！ 子どもも大人も楽しい絵本と読み聞かせのこと 絵本や読み聞かせについてかんたんに話をした後、参加者同士で絵本や紙芝居の読み合いをしたり、エブロンシアターやパネルシアターなどの体験をしたりして、お手軽にできるおはなしグッズを作ります。	砂川市立図書館 司書 工藤 雅子氏
第13分科会 担当：深川西	まわしよみ新聞を楽しもう 新聞を読んで、気になる！おもしろい！なんで？これは！という記事を切り抜きます。なぜその記事を選んだのかをグループのメンバーにプレゼンテーションしながら、自分の考えを伝え、メンバーの反応を聞いて自由に会話のキャッチボールを楽しみます。仕上げは切り抜いた記事を模造紙に貼りつけて、オリジナルの新聞を完成。	（株）北海道新聞社 みらい教育推進室 小林 豊氏
第14分科会 担当：砂川	地質から見た空知の炭鉱 三笠ジオパークの代表的コースである博物館と野外博物館を見学します。 三笠を含めた空知は石炭産業によりまちが発展します。この石炭は明治元（1968）年、三笠の幌内地区で発見され、北海道開拓へ進んで行きます。石炭専門は地質と密接な関わりがあり、今回は地質や炭鉱遺構を見学しながら空知の歴史について学びます。	三笠市役所 商工観光課 ジオパーク推進係 上口 壮太氏
第15分科会 担当：美唄尚栄	知的書評合戦！ビブリオバトル ビブリオバトルは本の紹介コミュニケーションゲームです。発表者と本、発表時間の5分を計るタイマーさえあれば、誰でも、どこでも開催できます。お気に入りの本の魅力を伝え、共有する「開かれた読書」を体験しましょう。	北海道小樽未来創造高等学校 教諭 加藤 孝志氏